

平成30年度 学校経営方針

教育目標

八木山中学校生徒としての自覚を持ち、相互の連帯感を高めつつ、自主的創造的に、未来を切り拓く人間性豊かな生徒の育成

自主

連帯

創造

<目指す生徒 ～教育の重点～>

- 1 きまりや秩序を守り、主体的・積極的に行動する生徒 (自主)
- 2 生命を尊び、心豊かで思いやりのある生徒 (連帯)
- 3 課題意識を持ち、その解決に工夫し努力する生徒 (創造)

学校

確かな学力の育成

- 多様な生徒の居心地の良い学級集団を基盤とした学級経営
- かかわり合い・学び合う学習集団を基盤とした教科経営
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

<重点目標実現のための手だてや方策（土台づくり）>

自分づくり教育の推進

- 生き方講話の計画的な位置付け
- 生と性の学習
- キャリア教育の系統的な位置づけ
- 構成的グループエンカウンター
の活用

<生徒会>

- ☆あいさつ運動の拡大
や校内美化の工夫
 - ☆地域ボランティア
活動の拡大
- <部活動>

豊かな心の育成

- ◇深く考える道徳教育の推進
- ◇読書活動の推進
- ◇情報モラル教育の充実
- ◇学級経営の工夫
(QU調査・探求の対話の
活用)

【協働型学校評価の目標～生徒のよりよい姿を目指して～】

思いやりや感謝の気持ちを持ってかかわり合う生徒の育成

<目指す生徒の姿>

- 自分から大きな声で誰とでもあいさつをする生徒
- 生徒同士、先生・保護者・地域の方への思いやりや感謝の気持ちを持つ生徒
- 学校・家庭・地域等、自分を取り巻く人々や環境のために、できることを考え実践する生徒

家庭

- 1 保護者自らが、周囲の人々と積極的にあいさつを交わすことに努める。
- 2 保護者自らが学校・地域と共に進んで活動する。

地域

- 1 子どもたちへのあいさつや声がけをする。
- 2 町内会の事業計画で中学校との関わりを持つ活動目標を掲げる。

※「構成的グループエンカウンター」とは……

体験活動を通して、本音を表現し合ったり認め合ったりしながら、自己受容や人間関係を図るもの

※「QU調査」とは……

学校生活の満足度や学級集団の状況を調べ、学校生活不適応への早期対応につながる調査

※「探求の対話」とは……

円座による探求の対話の時間。生徒たちが、各自疑問に感じている答えが一つではない問いについて話し合う時間。互いを認め合い、思考力や表現力を身につけることができる。と考える。